

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月2日

上場会社名 株式会社 マースエンジニアリング

上場取引所 東

コード番号 6419 URL <http://www.mars-eng.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松波 明宏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 佐藤 敏昭

TEL 03-3352-8555

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

平成21年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	15,503	8.6	4,121	22.9	4,256	22.1	2,635	36.7
21年3月期第2四半期	14,270	—	3,354	—	3,486	—	1,927	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	142.85	—
21年3月期第2四半期	104.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	56,492	37,142	65.7	2,013.52
21年3月期	54,712	35,371	64.1	1,900.93

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 37,142百万円 21年3月期 35,065百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
22年3月期	—	35.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	30.00	65.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,819	10.1	7,838	5.9	7,953	4.7	4,703	8.9	254.97

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	22,720,000株	21年3月期	22,720,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	4,273,724株	21年3月期	4,273,724株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	18,446,276株	21年3月期第2四半期	18,446,352株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、世界的な金融危機の状況から景気対策の効果や企業の在庫調整が一巡したことで景気の悪化に底打ちした感があるものの、企業収益の低迷を受けて個人消費や雇用情勢は厳しい状況が続きました。

当社グループの主要販売先であるパチンコ業界におきましては、通常よりも少額で遊技できる低貸玉営業が全国的に普及し、時間消費型レジャーとして新規遊技ファンやオールドファンを魅了し、長年減少を続けていた遊技人口は下げ止まったように思われます。その一方でホールを取り巻く金融環境は依然として厳しく、ホール経営の優劣が一層鮮明になってきました。

そのような中で開発型企業グループである当社グループは、顧客ニーズに迅速かつ柔軟に応えるべく、開発・製造・販売・アフターサービスに至るまでを一貫体制で行い、経営効率の改善を支援するシステムの開発に努めてまいりました。また、従業員の玉運び・玉積み業務を解放し、少人数で効率的なホール運営を可能にした「パーソナルPCシステム（以下、「パーソナル」という。）」を中心に、景品管理システムや島補給システムなどトータルシステムでの提案販売を行ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高155億3百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益41億21百万円（同22.9%増）、経常利益42億56百万円（同22.1%増）、四半期純利益26億35百万円（同36.7%増）となりました。

事業別の状況は次のとおりです。

[アミューズメント関連事業部門]

(プリペイドカードシステム)

プリペイドカードシステムであるサイクルカードシステムは、遊技機ごとに計数機を備え付けた玉積み不要のパーソナルを主軸システムと位置付け、業界の標準化を目指して販売を展開してまいりました。

集客のために玉積み演出が主流となっている業界内において、玉積み・玉運びが不要となるパーソナルは、ホール経営を効率良く行うためのシステムとして認知され、また、遊技ファンには1枚のカードで遊技できる利便性が支持されております。

パーソナルは、高セキュリティで最上位モデルの「パーソナルⅠ」、工期が短くコストパフォーマンスに優れた「パーソナルⅡ」及び「パーソナルⅢ」をラインナップし、顧客ニーズに合わせて販売を行い、大手パチンコホールチェーンを中心に全国有数のパチンコホールへ導入が進みました。

この結果、パーソナルの売上実績は135店舗、発売以来の累計導入（実稼動）店舗数は当四半期末時点で452店舗となりました。また、パーソナルを含めたサイクルカードシステムの売上実績は176店舗、導入（実稼動）店舗数は累計2,010店舗（市場シェア19.7%）となり、中期計画として掲げていたプリペイドカードシステムにおける市場シェア20%の獲得が目前に迫りました。

当システムの個別売上高は77億68百万円となりました。

(景品管理システム)

「景品管理のマース」としてのブランドと高いシェアを誇る景品管理システムは、パーソナルと連動することで、遊技ファンの利便性やセキュリティが向上するため、パーソナルを導入するパチンコホールを中心に提案販売を行ってまいりました。また、システムの将来的な拡張性を見込んで段階的に導入が進みました。

この結果、当システムの個別売上高は17億22百万円となりました。

(RFID)

RFID市場の新規開拓を目指し、アミューズメント施設向けの認証システムやセキュリティ機器向け認証基板等を拡販するため、展示会等への積極的な出展を行い、営業活動を展開してまいりました。今後の大きな商材として期待している健診センター向けシステムにおいては、順調に全国の施設へ導入実績を積み重ねてまいりました。

この結果、RFIDの個別売上高は3億62百万円となりました。

その他品目の個別売上高を合計しました結果、アミューズメント関連事業部門の個別売上高は152億30百万円（前年同期比9.0%増）となりました。

[その他事業部門]

その他事業部門におきましては、ホテル事業を行っており、JR博多駅近くの好立地や質の高いサービスが宿泊客から高い評価を得て高稼働を維持しております。

この結果、その他事業部門の個別売上高は2億73百万円（前年同期比9.7%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末の総資産は564億92百万円となり、前連結会計年度末と比較して17億79百万円増加いたしました。

流動資産は404億49百万円となり、前連結会計年度末と比較して25億20百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、有価証券が10億3百万円増加し33億85百万円、現金及び預金が9億22百万円増加し132億55百万円となりました。

固定資産は160億43百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億40百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、投資有価証券が7億77百万円減少し29億17百万円となりました。

流動負債は136億50百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億46百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、未払法人税等が8億87百万円減少し15億68百万円となりました。

純資産は371億42百万円となり、前連結会計年度末と比較して17億70百万円増加いたしました。

自己資本比率は65.7%となり、前連結会計年度末と比較して1.6ポイント増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は161億88百万円となり、前連結会計年度末と比較して19億24百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は20億24百万円の収入（前年同期は25億9百万円の収入）となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益44億81百万円等であり、主な減少要因は、法人税等の支払額26億39百万円等であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は3億67百万円の収入（前年同期は19億52百万円の収入）となりました。主な要因は、投資有価証券の売却による収入13億49百万円、投資有価証券の取得による支出5億1百万円、子会社株式の取得による支出3億36百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は4億68百万円の支出（前年同期は5億58百万円の支出）となりました。主な要因は、配当金の支払額4億60百万円等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の連結売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益は、平成21年10月5日に公表いたしましたとおり、期初計画を上回ることとなりました。

通期の連結業績予想につきましては、日本経済や業界環境等の当社グループを取り巻く環境が不透明であるため、平成21年5月14日に公表いたしましたとおり、現時点での修正は行っておりません。依然として業界環境は厳しく、年々受注から納品までの期間が短縮される傾向にあることから、繁忙期である第3四半期の受注、売上状況を鑑みて、速やかに開示いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

たな卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出については、実地棚卸を実施せず、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げについては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,255,593	12,333,501
受取手形及び売掛金	10,433,400	10,837,099
リース投資資産	5,083,104	4,707,231
有価証券	3,385,190	2,381,642
商品及び製品	2,419,446	2,469,106
仕掛品	126,887	19,286
原材料及び貯蔵品	1,879,931	1,784,286
その他	4,029,390	3,544,246
貸倒引当金	△163,389	△147,571
流動資産合計	40,449,556	37,928,828
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,160,572	5,141,572
その他(純額)	4,827,246	4,936,311
有形固定資産合計	9,987,818	10,077,883
無形固定資産		
その他	124,119	125,826
無形固定資産合計	124,119	125,826
投資その他の資産		
その他	6,269,055	6,923,928
貸倒引当金	△337,698	△343,570
投資その他の資産合計	5,931,356	6,580,357
固定資産合計	16,043,295	16,784,067
資産合計	56,492,851	54,712,896
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,827,819	2,797,141
リース債務	2,254,626	2,131,110
未払法人税等	1,568,526	2,456,444
賞与引当金	422,456	412,678
その他	6,576,662	6,098,927
流動負債合計	13,650,091	13,896,301
固定負債		
リース債務	3,807,725	3,622,555
退職給付引当金	33,019	31,321
役員退職慰労引当金	633,422	615,806
負ののれん	32,394	40,493
その他	1,194,188	1,134,888
固定負債合計	5,700,749	5,445,064
負債合計	19,350,841	19,341,366

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,934,100	7,934,100
資本剰余金	8,371,830	8,371,830
利益剰余金	30,570,813	28,396,914
自己株式	△9,261,346	△9,261,346
株主資本合計	37,615,396	35,441,498
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△480,082	△382,795
繰延ヘッジ損益	6,694	6,356
評価・換算差額等合計	△473,387	△376,439
少数株主持分	—	306,470
純資産合計	37,142,009	35,371,529
負債純資産合計	56,492,851	54,712,896

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	14,270,688	15,503,848
売上原価	7,272,739	7,572,944
売上総利益	6,997,948	7,930,904
販売費及び一般管理費	3,643,427	3,809,721
営業利益	3,354,521	4,121,183
営業外収益		
受取利息	16,343	7,660
受取配当金	24,613	41,723
有価証券売却益	21,793	—
負ののれん償却額	8,110	8,335
持分法による投資利益	37,279	54,461
その他	27,780	23,391
営業外収益合計	135,922	135,572
営業外費用		
支払利息	365	—
創立費償却	791	—
貸倒引当金繰入額	3,100	—
営業外費用合計	4,256	—
経常利益	3,486,186	4,256,756
特別利益		
外形標準課税還付金	30,191	—
投資有価証券売却益	—	236,619
特別利益合計	30,191	236,619
特別損失		
固定資産除却損	2,359	10,610
たな卸資産評価損	101,338	—
貸倒引当金繰入額	200,000	—
投資有価証券売却損	—	998
特別損失合計	303,697	11,609
税金等調整前四半期純利益	3,212,680	4,481,766
法人税、住民税及び事業税	1,411,907	1,753,558
法人税等調整額	△141,340	80,800
法人税等合計	1,270,567	1,834,359
少数株主利益	14,293	12,351
四半期純利益	1,927,819	2,635,055

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	7,149,435	7,562,217
売上原価	3,601,780	3,691,652
売上総利益	3,547,654	3,870,564
販売費及び一般管理費	1,789,494	1,975,702
営業利益	1,758,160	1,894,862
営業外収益		
受取利息	9,531	3,666
受取配当金	3,680	—
有価証券売却益	21,793	—
負ののれん償却額	4,065	4,367
持分法による投資利益	—	112,132
その他	15,474	11,315
営業外収益合計	54,545	131,482
営業外費用		
支払利息	138	—
持分法による投資損失	16,492	—
貸倒引当金繰入額	2,850	—
営業外費用合計	19,481	—
経常利益	1,793,224	2,026,345
特別利益		
外形標準課税還付金	30,191	—
投資有価証券売却益	—	236,619
特別利益合計	30,191	236,619
特別損失		
固定資産除却損	1,992	8,552
貸倒引当金繰入額	200,000	—
投資有価証券売却損	—	998
特別損失合計	201,992	9,550
税金等調整前四半期純利益	1,621,423	2,253,413
法人税、住民税及び事業税	858,556	1,080,785
法人税等調整額	△200,201	△182,005
法人税等合計	658,355	898,779
少数株主利益	4,047	—
四半期純利益	959,021	1,354,634

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,212,680	4,481,766
減価償却費	266,199	188,593
のれん償却額	—	25,297
負ののれん償却額	△8,110	△8,335
引当金の増減額 (△は減少)	476,660	39,037
受取利息及び受取配当金	△40,957	△49,383
支払利息	365	—
持分法による投資損益 (△は益)	△37,279	△54,461
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△235,620
固定資産除却損	2,359	10,610
売上債権の増減額 (△は増加)	220,602	403,698
リース投資資産の増減額 (△は増加)	—	△370,191
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△227,825	△153,586
営業貸付金の増減額 (△は増加)	△623,689	△509,935
仕入債務の増減額 (△は減少)	166,651	30,678
前受金の増減額 (△は減少)	465,406	463,366
リース債務の増減額 (△は減少)	—	308,686
その他	△355,763	42,754
小計	3,517,299	4,612,973
利息及び配当金の受取額	44,002	50,941
利息の支払額	△365	—
法人税等の支払額	△1,051,755	△2,639,095
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,509,180	2,024,819
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	1,928,726	—
有形固定資産の取得による支出	△139,615	△91,580
投資有価証券の取得による支出	△21,897	△501,464
投資有価証券の売却による収入	—	1,349,363
子会社株式の取得による支出	—	△336,000
貸付金の回収による収入	222,400	—
その他	△37,354	△52,376
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,952,258	367,942
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△93,000	—
自己株式の取得による支出	△214	—
配当金の支払額	△460,883	△460,476
少数株主への配当金の支払額	△4,000	△8,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△558,098	△468,476
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,903,340	1,924,285
現金及び現金同等物の期首残高	10,024,171	14,264,479
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,927,511	16,188,764

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間については、アミューズメント関連事業の売上高、営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間については、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間については、海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」四半期個別財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,555,726	6,531,739
受取手形及び売掛金	3,992,229	4,700,366
有価証券	3,123,249	2,119,602
商品及び製品	2,349,411	2,423,063
仕掛品	106,520	18,102
原材料及び貯蔵品	956,777	894,225
その他	1,310,599	1,317,609
貸倒引当金	△7,302	△8,406
流動資産合計	19,387,212	17,996,303
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,855,750	1,855,750
その他(純額)	2,083,604	2,148,965
有形固定資産合計	3,939,355	4,004,716
無形固定資産		
その他	49,310	57,555
無形固定資産合計	49,310	57,555
投資その他の資産		
投資有価証券	2,538,058	3,318,114
子会社及び関係会社株式	6,479,624	6,143,624
その他	3,394,783	2,254,188
貸倒引当金	△126,309	△128,427
投資その他の資産合計	12,286,158	11,587,500
固定資産合計	16,274,824	15,649,772
資産合計	35,662,036	33,646,075

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,698,829	2,604,038
未払法人税等	858,807	1,160,544
賞与引当金	335,160	329,022
その他	524,862	437,874
流動負債合計	4,417,659	4,531,478
固定負債		
役員退職慰労引当金	633,422	615,806
その他	9,340	10,540
固定負債合計	642,762	626,346
負債合計	5,060,422	5,157,825
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,934,100	7,934,100
資本剰余金	8,371,830	8,371,830
利益剰余金	23,902,612	21,694,037
自己株式	△9,261,346	△9,261,346
株主資本合計	30,947,196	28,738,621
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△345,581	△250,370
評価・換算差額等合計	△345,581	△250,370
純資産合計	30,601,614	28,488,250
負債純資産合計	35,662,036	33,646,075

(注) この四半期貸借対照表は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業損益の部		
売上高	10,466,140	12,503,585
売上原価	5,611,301	6,923,401
売上総利益	4,854,839	5,580,183
販売費及び一般管理費	3,135,998	3,256,268
営業利益	1,718,840	2,323,915
営業外損益の部		
営業外収益		
受取利息	21,917	17,540
受取配当金	1,170,803	1,165,265
その他	44,317	20,941
営業外収益合計	1,237,037	1,203,747
営業外費用		
その他	3,100	-
営業外費用合計	3,100	-
経常利益	2,952,778	3,527,663
特別損益の部		
特別利益		
投資有価証券売却益	-	236,619
外形標準課税還付金	30,191	-
貸倒引当金戻入益	9,693	3,207
特別利益合計	39,885	239,827
特別損失		
固定資産除却損	2,220	9,272
投資有価証券売却損	-	998
たな卸資産評価損	101,338	-
貸倒引当金繰入額	200,000	-
特別損失合計	303,559	10,271
税引前四半期純利益	2,689,104	3,757,218
法人税、住民税及び事業税	740,536	1,058,175
法人税等調整額	△93,997	29,311
法人税等合計	646,539	1,087,486
四半期純利益	2,042,564	2,669,732

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。